

2024年4月22日
MODE, Inc.
CalTa 株式会社

いつでもどこでも簡単に リアルタイムデータが共有可能なデジタルツインへ - MODE 「BizStack」 × CalTa 「TRANCITY」 -

生成 AI と IoT のチカラで現場の DX ソリューションを提供する MODE, Inc. (本社: 米国カリフォルニア州サンマテオ、CEO: 上田 学、以下、MODE) と、デジタルツイン*でインフラ業界の DX を推進する CalTa 株式会社 (本社: 東京都港区、CEO: 高津 徹、以下、CalTa) は、センシング技術とリアルタイムデータに特化したプラットフォーム「BizStack」と、撮影動画から自動生成した三次元データを「いつ、どこ」のデータであるか管理が可能なデジタルツインソフトウェア「TRANCITY」を融合し、建設現場管理やインフラ管理の安全性向上、生産性向上に向けて連携します。

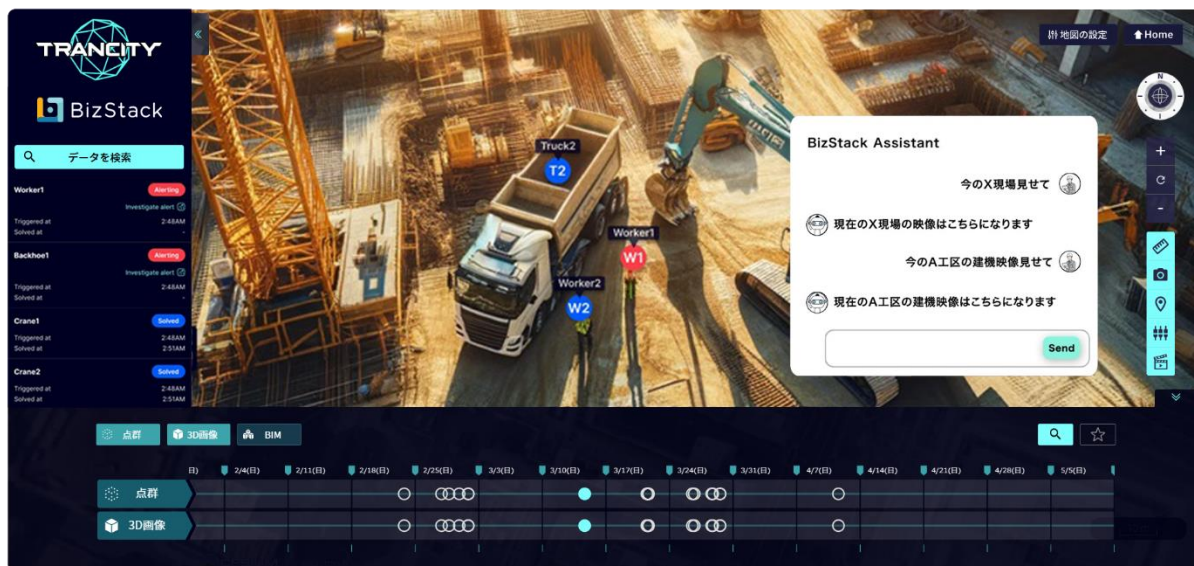
※ デジタルツイン: 現実空間で収集したデータを基に、現実空間を仮想空間に再現する技術

1. 連携概要

MODE が提供する「BizStack」は、メーカーを問わずあらゆるセンサー・デバイスのリアルタイムデータを収集可能であり、AI アシスタントとのチャットのやり取りだけで、現場の情報をいつでもどこでも簡単に知ることができるプラットフォームです。

CalTa が提供する「TRANCITY」は、スマートフォンやドローンなどで撮影した動画データをアップロードするだけで、電子地図上に三次元データが自動生成され、時系列表示バーで管理が可能なデジタルツインソフトウェアです。

今回の連携により、BizStack で収集したリアルタイムデータを TRANCITY で自動生成した三次元データにプロットすることで、デジタルツイン空間内での一括管理が可能となり、AI アシスタントによりいつでもどこでも簡単にリアルタイムデータにアクセスできる、高度なデジタルツインの実現を目指します。



MODE 「BizStack」 × CalTa 「TRANCITY」 イメージ画面

2. 連携により実現できること

従来の建設現場管理、インフラ管理では、現場の進捗状況や設備状況を人間が現地に赴いて目視確認するとともに、計測機器やカメラ等のリアルタイムデータを現場事務所内の端末や専用のスマホアプリ等で確認しています。

今回の連携により、現場の三次元データと計測機器等のリアルタイムデータが統合されるとともに、AI アシスタントとのチャットにより「いつでもどこでも簡単に」すべての情報を呼び出すことができます。パソコンやスマートフォン等でデジタルツイン空間内の現地状況を確認し、現場で何らかの変化が起こった際には、その場所、対象、データの変化がリアルタイムで共有されることにより、迅速かつ適切な対応が可能となります。これにより建設現場管理、インフラ管理業務の安全性と生産性が大幅に向上します。



■日本最大の IT 展示会「第 33 回 Japan IT Week 【春】」に出展

2024 年 4 月 24 日(水)～4 月 26 日(金)に東京ビックサイトで開催される、「第 33 回 Japan IT Week 【春】」に出展いたします。今回の出展ブースでは「リアルタイムデータの活用」をテーマに、TRANCITYxBizStack の連携デモや、チャットのやり取りで現場の情報を確認できる「BizStack Assistant」を展示し、最新のソリューションをご体感いただけます。ぜひブースへお越しください。

第 33 回 Japan IT Week 【春】 公式 Web サイト : <https://www.japan-it.jp/spring/ja-jp/lp.html>

ブース小間 : クラウド業務改革 EXPO 東 2 ホール 小間番号 : 2-18

■会社概要

会社名：MODE, Inc.

代表者：CEO / Co-Founder 上田 学

所在地：1840 Gateway Dr. Suite 250 San Mateo, CA 94404 USA

設立：2014年7月

事業内容：センサープラットフォーム及び関連ソフトウェアサービスの提供

URL：<https://www.tinkermode.jp>

会社名：CalTa 株式会社

代表者：代表取締役 CEO 高津 徹

所在地：東京都港区高輪二丁目 18 番 10 号 高輪泉岳寺駅前ビル 9 階

設立：2021年7月

事業内容：現地映像取得事業、デジタル化事業

URL：<https://calta.co.jp/>